

# 会津大学ダイバーシティ推進宣言

会津大学は日本初のコンピュータ理工学の教育・研究機関であり、福島県、日本そして世界の発展に貢献することを目標に掲げてきた。

開学当初から現在まで、常に全教員の半数前後の外国人教員を擁し、学内公用語を英語・日本語とし、生活面を支援する相談員を配置するなど、早くからダイバーシティの重要性に対する認識を全教職員が共有し、働きやすい環境の醸成に努めてきた。

世界に開かれたグローバル大学を志向する本学の持続的発展のためには、ダイバーシティの継続した推進が不可欠であるとの認識のもと、性別・国籍・年齢等の属性によらず個人が尊重される社会を目指す本学の姿勢を明確にし、以下の基本方針を掲げて積極的に活動することを宣言する。

## 基本方針

1. ダイバーシティ推進の視点に立った女性・外国人の比率の向上に努める
2. ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究、労働の環境整備・改善に努める
3. FD・SDの機会を活用した、ダイバーシティを推進する啓発活動の実施に努める
4. 多様性を尊重し、女性・外国人教職員の積極的な登用に努める
5. 年齢、性別等によらない、学生・教職員の能力を発揮できる機会の確保に努める
6. 多様な価値観を尊重できる優れた研究者・技術者の育成に努める

以上